



福井工業大学の学生を招いて、現場見学と意見交換会を開催しました。

平成27年9月17日(木)に、当事務所及び福井港海岸(福井地区)工事安全対策協議会(五洋・あおみ建設(株)JV、(株)本間組)が主催、(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部及び福井県港湾建設協会(東洋建設(株)・若築建設(株)・(株)関組)、(一社)港湾技術コンサルタント協会(いであ(株))の共催で、

①就職を控える学生に直接的なアドバイス ②学生に将来、建設産業の担い手になってもらうための魅力発信 ③将来の担い手である学生が何を感じて何を求めているのかを把握することを目的とし、福井工業大学の建築生活環境学科の学生(67名、引率の先生8名 計75名)を招いた、現場見学と意見交換会を開催しました。

その行程は、石油備蓄基地見学→福井港内／施工現場を2班に分かれ見学→意見交換会のスケジュールで行いました。

福井港内見学では、港湾施設の説明により、港の役割を理解してもらいました。また施工現場では、地盤改良工事で用いる薬液注入の説明と固化実験を体験、足場ステージからガット船による離岸堤の捨石投入や据え付けているブロックの説明、安全対策施設として、移動できる熱中症対策施設やヒューマンエラー対策となる注意喚起看板などの説明を受けました。

意見交換会では、当事務所の吉田所長が主催者を代表して、「このイベントを通じて、建設業界への関心を、更に深めて下さい」との挨拶があり、その後、学生のみなさんが関心あるテーブル、「公務員」・「建設会社(土木)」・「建設会社(建築)」・「建設コンサルタント」・「女性技術者」に別れ、意見交換を行いました。

学生の質問に答える、各テーブルのコーディネーターには、この業界に進んだ理由は何か？仕事の内容は何か？など進路に直結した質問が多く出されました。

最後に、私たちは、これら現場見学や意見交換会を通して、学生のみなさんに建設業の魅力や技術者の仕事に理解を深めてもらい、将来の業界の担い手となってもらえることを期待しています。

後日、学生のみなさんからの感想を取りまとめ、現場見学・意見交換会を検証、成果を取りまとめる予定です。



福井国家石油備蓄基地見学



船での福井港内見学



離岸堤、護岸消波工の見学



2種類の薬材を固化させる実演



吉田所長の挨拶



意見交換会での様子